

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(だい 1 3 期 だい 2 年 だい 1 回 だい 1 にち)
ぎじろく
議事録

1 にちじ 2 0 2 1 (れいわ 3) ねん がつ 4 月 1 1 にち (にち) 午後 2 時 0 0 分 ~ 4 時 3 0 分

2 ばしょ かわさきしがいこくさいこうりゅうせんたー
場所 川崎市国際交流センター

3 しゅつせきしゃ
出席者

(1) だいひょうしゃ 2 0 にん
(1) 代表者 20 人

あでいていあ わるまん、かい いーもんたん、こだま のんていしゃー、しん
バスカ バハドール、スチエタ スリニヴァサン、ち うに、ちよう りよう、ちょ
ちょ かいん、どうまやス アリヤン、バテネフ あるちょむ、ペレーラ
らひる さんけーた、ぼーる うっざる くまる、ぼそ みげる あんへる、
まえだ きよみ、むはまど あいまん ありふ、ゆでく まるちん、り かんかん、
りゅう あいりん、れい ぼーまん けびん、んでいあえ まり かてりん
劉 愛玲、レイバーマン ケビン、ンディアエ マリ カテリン

(2) じむきょく
(2) 事務局

ながぬま かちよう、すがはら たんとうかちよう、さと う 課長補佐、うえ しゅにん、いがらし しよくいん、たかはし
長沼 課長、菅原 担当課長、佐藤 課長補佐、植 主任、五十嵐 職員、高橋
せんもんちょうさいん
専門調査員

4 ぼうちょうしゃ ひ と り
傍聴者 1 人

5 かいぎしだい こうかい
会議次第(公開)

(1) かいかい
(1) 開会

(2) じむきょくせつめい
(2) 事務局説明

(3) ぎ じ
(3) 議事

(4) じ む れんらく
(4) 事務連絡

(5) へいかい
(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2021年度第1回第1日を開催する。今日は、尹さん、金さん、グエンさん、サラさん、許さん、和田さんが欠席だ。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

（事務局佐藤課長補佐が説明、職員交代のあいさつ）

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）それでは、議事に入る。まずは、イベントへの参加についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、順番に決をとっていく。まず、インターナショナル・フェスティバル in カワサキについて、参加に賛成の人は手を挙げてください。（19人）次に、多文化フェスタさいわいについて、参加に賛成の人は手を挙げてください。（15人）次に、かわさき市民祭りについて、参加に賛成の人は手を挙げてください。（19人）イベントについては3つとも参加するということに決定した。続いて、実行委員会について決めたい。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、まずはどの実行委員会をつくるか決めたい。案では臨時会実行委員会とニューズレター編集委員会の2つとなっているがよいか。（異議なし）では、決をとる。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）次は、誰がどの実行委員会に参加するか決めたい。（順番に希望を確認）欠席の人もいるが、人数のバランスは大きく崩れていないので、これで決定とする。欠席の委員には事務局から希望の確認をお願いする。続いて、市の審議会等委員について審議する。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、まずは成人式企画実施委員会を希望する人はいるか。（レイバーマン委員）ほかにいるか。（なし）それでは、レイバーマンさんに決定とする。次に、かわさき市民

まつり実行委員会を希望する人はいるか。（スチエタ委員、児玉委員）では、多数決で決めたいが、その前に一言ずつPRをお願いする。」

児玉部会長「昨年度も委員になったのだが、市民祭りが中止のため会議がなかった。

もう一度自分の意見を出したいと思って応募した。」

スチエタ委員「昨年は市民祭りが開催されずに参加できなかった。家も近いので祭りにも会議にも参加できると思う。一度経験してみたい。」

ペレーラ委員長「では、多数決をとる。児玉さんに賛成の人は手を挙げてください。

（7人）スチエタさんに賛成の人は手を挙げてください。（11人）

スチエタさんに決定した。このあとは部会審議になる。全体会の再開は16時10分だ。」

【国際コミュニティ部会】

前田部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、今日の進め方について事務局から説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料5に基づき説明）

前田部会長「何か質問はあるか（なし）。続いて、行政主導でのオンラインコミュニティの構築について事務局から資料の説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料5－1に基づき説明）

前田部会長「何か質問はあるか。（なし）それでは審議していきたい。説明にもあったように、いろいろと難しい面があると思うが、まずはみなさんの意見を募りたい。」

張副委員長「私の意見では、オンラインのコミュニティが必要だと思う。市の職員が運営するのは難しいということはわかったので、何か別の方法を考えたい。たとえば、この代表者会議のメンバーで運営していくのはどうだろうか。私のイメージでは、Yahoo!知恵袋のようなものが欲しい。行政がやっているからこそ信頼される部分もあると思う。」

スチエタ委員「私も賛成だ。新しく引っ越してきた人から質問があったときに、誰かが答えてあげたらとても役に立つと思う。」

ンディアエ委員「疑問が2つある。海外の人でも利用できるのか。それと、このオンラインコミュニティについて実行委員会を立ち上げるのか。」

前田部会長「今日は細かいことを決めるというよりは、まずは意見や疑問を出してもらいたい。」

アディティア委員「目的を整理しないと意見を出せないと思う。」

李委員「川崎市が運営するとなると責任を持たなければいけないので難しいのはわかった。たとえば、川崎市が回答する部分と私たちが回答できる部分にカテゴリーをわけたらどうか。内容のチェックに関しては、NPOなどに協力してもらえないか。好ましくない書き込みについては、キーワードを設定して自動的に削除したり、通報してもらったりしたらどうか。」

前田部会長「事務局に質問だが、代表者会議のメンバーで立ち上げるというのは可能か。事務局は市が運営するのは難しいと言っているが、私の理解ではこれは『できない』と言っていると思う。」

事務局佐藤課長補佐「仮につくったとして、継続して運営していくことができるのかというのは考える必要があると思う。」

前田部会長「張さんに質問だが、先ほどの李さんの意見ではカテゴリーをわけて、コミュニティの中で話し合う部分と行政が対応する部分というのがあったと思うが張さんのイメージはあるか。」

張副委員長「私もわけた方がよいと思った。」

シン委員「いつかはできると思うので、それなら今つくらないといけないと思う。職員が対応できないということだが、いろいろなツールを活用して1日に1時間くらい対応できないのか。」

事務局佐藤課長補佐「話の方向がずれているように感じる。たとえば、川崎市に引っ越してきて困ったときの相談先としては、国際交流センターの相談窓口もあったりする。なぜ、新たにオンラインコミュニティが必要なのかの理由が弱いと感じる。」

チョ委員「私が知っているのはG a i j i n P o tというもので、そこで質問をするとわかる人が答えたり、アドバイスしたりするというものがあつた。そういうイメージか。」

アディティア委員「目的は情報交換にあるのだと思う。正確ではない情報が入ってきてしまうと困るということだが、たとえば川崎市に住んでいることを証明してメンバー登録をするというのはどうか。」

池委員「日本に来日してすぐに知りたいことで、行政に関することであれば自分で検索すれば探すことができるし、国際交流協会のようなところもある。コミュニティを通じて知りたい情報となると、たとえばどこの電力会社が安いとか、どこの病院がよいか、どこの保育園がよいかなどになると思う。私

たちで運営や管理するというアイデアも出たが、本当にできるのか実現性を考える必要がある。」

ンディアエ委員「川崎市のアプリと多文化共生推進課のFacebookをひもづけたらどうか。」

アディティア委員「欲しい情報がどこで入手できるかわからないのが問題だと思うので、それがオンラインコミュニティの役割だと思う。」

前田部会長「では、時間になったので行政主導でのオンラインコミュニティについては、ここまでとする。次回の予定について、事務局から説明をお願いする。」

事務局五十嵐職員「今回は参考人の方に来ていただいてアドバイスをもらったり、意見交換をしたりする予定だ。それと、オンラインアンケートの結果についてだが、回答は5件だった。詳しいことは次回、資料にして報告する。」

前田部会長「何か質問はあるか。」

スチュエタ委員「参考人は誰か。」

事務局佐藤課長補佐「また調整中なので決定していない。」

前田部会長「それでは、これで国際コミュニティ部会を終わりにする。」

【安心生活部会】

児玉部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、今日の審議について事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料6に基づき説明)

児玉部会長「何か質問はあるか。(なし)では、今日は防災・災害について審議する。事務局から資料の説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料6-1に基づき説明)

児玉部会長「何か質問はあるか。(なし)では、意見をどうぞ。」

バテネフ委員「個人的には、やはり防災行政無線の問題が大きいと感じた。何かが起きて数秒でアクションを起こすかどうか命にかかわるときに、アナウンスの内容がわからないというのは大きな問題だと思う。資料では、自由に話せる言語で一番多かったのは日本語の約70%だが、逆にいえば残りの30%は自由に話せないということだ。すべての言語をカバーするのは無理だということとはわかるが、たとえば日本語と英語、日本語と中国語があればかなりの部分カバーできるのではないかと思う。」

劉委員「私も賛成だ。私は日本語が理解できる方だと思っているが、それでも

アナウンスが聞きとれないことがある。」

事務局高橋専門調査員「少し補足をさせて欲しい。個人的にはとても悩ましい問題だと思っている。というのも、みなさんの意見はとてもよくわかるし、共感できる部分もある。自分も海外に行ったときに、せめて英語でアナウンスがあればと思うことはよくある。一方で、たしかに外国人の中に日本語がわからない人が一定数いるというのも事実だが、それでも圧倒的に多数なのは日本人だ。命に関わるというときに、多言語のアナウンスを増やした結果、日本人に伝わらなかったらどうするか、という問題は大きい。これは、どこの国でも同じだと思う。先ほど、劉さんからアナウンスが聞きとれないという意見があったが、実は日本人でも1回のアナウンスで聞きとれないことはよくある。みなさんの意見は外国人の立場からすれば当然の主張だと思うが、相手の立場に立つということもこの会議では重要だ。意見を潰したいわけではなく、どうすれば日本人にも理解してもらえるかという発想を持って欲しいということだ。自分の国だったらどうかを少しイメージしてみて欲しい。」

児玉部会長「外国語のアナウンスは、たとえば『津波、逃げろ』のような簡単なものにしたらどうか。それなら時間はとらない。」

事務局高橋専門調査員「現実には、それでは情報が少なすぎて意味がないと思う。津波の場合なら『高いところ』に逃げないと意味がないので『逃げろ』では不十分だ。」

ペレーラ委員長「バテネブさんの意見も高橋さんの意見もどちらもよくわかった。スリランカはあまり災害がないのだが、自分の国だったらどうかをイメージするのは大事だと思う。」

児玉部会長「今日は資料の説明が長かったので、審議の時間はここまでだ。今日で終わりではないので、引き続き審議はしていきたい。」

事務局高橋専門調査員「時間の関係で防災行政無線の話だけになってしまったが、ほかに防災・災害のテーマで意見はないか。」

ドウマヤス委員「確認したいのだが、避難所の受付シートは避難所で記入するのか。それとも、事前にパソコンやスマートフォンで記入するのか。」

事務局高橋専門調査員「避難所で紙に書く。」

ドウマヤス委員「事前にパソコンやスマートフォンで記入できるようにして、データベース化したらどうか。」

事務局高橋専門調査員「災害が起きたときに、みなさんが自宅や家の近くにいるとは

限らない。逆に、川崎市民ではない人が一時避難で来るかもしれない。それだと結局、避難所にいる人とデータベースのマッチングが必要になってくる。また、そもそも代表者会議でもいろいろな情報が届いていないという意見が出ている中で、どうやってデータベースをつくることを知ってもらうかという部分にハードルがある。」

ペレーラ委員「先ほどフォーマットを見てみたが、避難所に来たばかりの精神状態で書くのは難しいように思う。」

事務局高橋専門調査員「提言したときも同じ意見があった。受付シートはその場で書くに書いてもらうというものではない。精神状態が落ち着いてから記入して提出してもらえばよい。」

児玉部会長「時間なのでここまでとしたい。次回の予定について、事務局から願する。」

事務局高橋専門調査員「今回は参考人の招致がある。コメントやアドバイスを聞いて、積極的に意見交換をしてもらえればと思う。オンラインアンケートについてだが、簡単に報告する。2週間の期間で、結果は5件だった。詳しくは、次回の会議で資料を使って報告する。」

児玉部会長「それでは、これで安心生活部会を終わりにする。」

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、部会報告だ。安心生活部会から願する。」

児玉部会長「今日の審議テーマは防災・災害についてだ。審議の中で意見は大きく2つある。1つは、防災行政無線だ。今は日本語しかアナウンスがないが、外国語を追加できないか、ということについて審議した。もう1つは、過去の提言で災害が起きたときに避難所で活用する外国人用の受付シートというものがあるが、避難所で記入してもらうのではなく、事前にデータベースを作成したらどうかという意見があった。主な審議内容は以上だ。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）それでは、次に国際コミュニティ部会の報告を願する。」

前田部会長「今日の審議テーマは、行政主導でのオンラインコミュニティの構築だ。まずは、目的の整理が必要だという話をした。まず、コミュニティが必要かというところでは、長期的にみて必要だという意見があった。どうやってつく

って、どのように運営していくかについてもいろいろな意見が出た。川崎市と代表者会議で主導していきたいという意見が出た。事務局からはメリットだけではなく、デメリットもあることや、なぜ行政が主導するのかの理由が弱いという意見もあったが、それに対して行政にやって欲しいという意見が多く出た。行政が難しいのであれば、NPOなどと協力するのはどうかという意見も出たが、本当に可能なかは確認する必要がある。具体的なイメージとしては、Yahoo!知恵袋のようなものという話が出た。ただし、川崎市のウェブサイトもあるし、サンキューコールかわさきなら電話で質問もできる。ほかにもいろいろと考えなければいけないことがあるので、今後も引き続き掘り下げていきたい。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

・なし

ペレーラ委員長「それでは、今日の日程は終了だ。次回の会議は、5月23日、日曜日、川崎市国際交流センターで開催する。これで2021年度第1回第1日の会議を終わりにする。」